

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	・年末に向け、新商品の発表や客の購入計画があるので追い風になると思う。
		百貨店（営業担当）	・北陸新幹線が開業してから初めての冬場を迎え、当地域に訪れる観光客はかなり増加するのではないかと。冬の味覚という面があり、食品の販売量が促進されるような気がする。例年と大きく違い、観光客の流入により消費が多少上向くのではと考えている。
		コンビニ（店長）	・不景気慣れしてきた客が不必要な節約をしなくなったと感じている。以前と違って、嗜好品の売上推移や季節商品、イベント商品の動向がかなり好調に推移しているのが根拠である。このまま年末も同じような流れが続けばと願っている。ただ、不景気慣れしただけなのかもしれないので、本当に景気が良くなったのかは疑問が残る。
		衣料品専門店（経営者）	・観光、建設関連の人の話によると、良くなっていると聞いている。当地のホテルについては、期待以上に昨年より良くなっているし、温泉地では2～3割良いと言っている。建設も仕事を選べるようになってきていると聞いている。底が固まってきているということであろうか。
		乗用車販売店（役員）	・12月に量販車種のフルモデルチェンジが予定されているので、今以上に受注、販売に寄与するものと期待するが、全チャンネル併売なので他社との競争が激化する。
		住関連専門店（店員）	・例年だと、11月から初売りまで繁忙期に入る。ここ数か月は、販売数量に大きな伸びはないが単価は上がってきている。この推移で数量が増加すれば回復傾向に結びつくはずと考える。また、最近ではアパレルの苦戦に対し、インテリア用品に浪費する傾向も強まり期待が持てる。
		都市型ホテル（役員）	・宿泊部門と大会、コンベンションの増加により全体ではやや良くなると見込む。
		旅行代理店（従業員）	・北陸新幹線効果がまだ期待できる。
		通信会社（営業担当）	・現状は前年度と比較して販売台数に大きな差がなく、目標数値も安定している。冬のボーナス時期に突入するため、やや上昇が見込めると考える。
	通信会社（役員）	・契約申込数の増加傾向に合わせ、ここ数か月は解約数も減少傾向にあり、純増数は前年比大きく改善している。この傾向は年末に向け、ここ数か月継続するとみている。	
	通信会社（営業担当）	・年末年始にかけてボーナス商戦も含め、新商品が全て出そろうため販売総数は増えていくと思われる。	
	通信会社（役員）	・現在の好調を維持し年末商戦を迎えることから、例年の数字をかんがみても引き続き好調を維持すると考える。	
	競輪場（職員）	・例年通り、年末のグランプリシリーズに向けて売上増が見込める。また盛り上がり期待している。	
	住宅販売会社（経営者）	・時期的に、消費税の10%への増税前に家を建てたいと思う人達が動き出す。	
	住宅販売会社（従業員）	・消費税率アップ前の客の動きは今以上に多くなると思われるが、競合もますます激しくなると考える。	
	変わらない	商店街（代表者）	・大きな変化は予想されない。
		商店街（代表者）	・この先悪くなる要素はいくつもあるが、良くなる要素は何もない。よって、今後2～3か月先の状況は、現状と変わらないか、もしくは若干悪くなるように思える。
		百貨店（営業担当）	・クリスマス、年末年始以外に、売上を見込める大きな要因はなく、客は必要なものを吟味して買うという動向に変わりがなく、厳しい状況が続くと予想する。
		スーパー（店長）	・現在の来客数の流れも含め、2～3か月先ではそんなに変わらないのではないかと考える。
スーパー（店長）		・今後の年末需要を予測すると、ボーナス商戦はそれほど期待できない。特にギフト関係は年々落ちてきているように思う。	
スーパー（総務担当）		・景気が良くなる要素がない。前年売上が維持できれば良いと考えざるを得ない。	
スーパー（総務担当）		・北陸新幹線開業による効果が継続しており、今年度はこのまま推移すると思われる。	
コンビニ（経営者）		・来客数は増加しているが、客単価は相変わらず前年割れの状態が続いている。コーヒーを1杯だけ買うという人も相変わらず多く、お金のシビアなのは変わっていない。競合店の出店も相変わらず止まっておらず、また他の業態の出店も近くに予定されており、売上が好調に推移するとは思えない。	

コンビニ（経営者）	・クリスマスケーキや年賀状印刷などの、いわゆる年末商戦が近づいてきているが、例年どおりに推移していくものと予測している。大きな変化の要素が見当たらない。
衣料品専門店（経営者）	・当地の衣料品店は、アウトレットモールなど大型店の進出や人手不足で、売上の落ち込みが大きく、回復の兆しは考えにくい。
家電量販店（店長）	・より良い商品を求める傾向はあるが、数量の伸びがない。
家電量販店（店長）	・来客数に対して販売数量が落ちている。関連商品、季節商材の提案を行っているが客の財布のひもは固く、必要以外の物への消費が少ない。
乗用車販売店（経営者）	・県内の業界の月ごとの集計数値を見る限り低調な状況が続いており、しばらくは状況が変わらないと思う。
乗用車販売店（従業員）	・気温が下がり天候の悪い日が増えてくると、なかなか来客数が伸びない。
その他小売〔ショッピングセンター〕	・観光地、飲食店、宿泊施設を中心に北陸新幹線効果が長く続いている。地元住民にも景気回復感につながって、需要が拡大することを期待したい。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・本来であれば、気温の低下とともに売上が増加する秋冬衣料の伸びが悪い。消費税増税から一巡して一時は回復の兆しも感じられた個人消費だが、最近はまだ財布のひもが固くなった感じが強い。
一般レストラン（店長）	・北陸新幹線開業効果が少しずつ波及しているのかとも思うが、持続するのか疑問である。
スナック（経営者）	・やはり、国内外の様々な変化が敏感に反映され、足元が止まってしまふ。
観光型旅館（経営者）	・11月からのカニシーズンを迎え、JRのデスティネーションキャンペーンや大手旅行会社の全国キャンペーンが行われており、順調に集客ができています。
観光型旅館（スタッフ）	・予約状況は10月以降も前年比115%以上の保有を確保している。
都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊中心に、引き続き堅調に予約がある。
旅行代理店（所長）	・北陸新幹線開業後の来県動向はJRのキャンペーンもあり好調である。出発の方はビジネス旅客の動きは変わらないが、観光旅行需要は増加傾向に陰りが出ており、前年比で横ばいの状況である。
タクシー運転手	・春先からずっと好調で、年末にかけても好調を維持し、あまり変化はないと思う。
タクシー運転手	・夜の繁華街は少し静かだが、ここ数か月ビジネス客が安定している。
通信会社（店舗統括）	・良くなる要素は見当たらない。
その他レジャー施設（職員）	・寒くなる時期であり、季節的要因が大きい。
住宅販売会社（従業員）	・情報量、来場者数とも引き続き順調である。ただし、土地なし客の土地の選定に時間がかかることと、土地造成も計画通り進んでいないこともあって、商談に入れない案件が出てきている。一方、完工面は一部の業者や職人の手配に時間がかかり、数字がずれ込み始めている。
住宅販売会社（従業員）	・次回の消費税増税まで少しずつ需要が増えると思っていたが、契約件数は増えず客の動きも減っており、今後は契約数が減ってくると思う。
やや悪くなる	<p>商店街（代表者）</p> <p>・年金をあてにしている家族が増えており、高齢者も今までのように自分のお金を自由に使えない、そんな家庭が増えてきているように思う。</p> <p>一般小売店〔精肉〕（店長）</p> <p>・北陸新幹線効果も徐々に薄くなってきて、これ以上商材の値上がりが続くと客の購買意欲も薄れるように感じる。</p> <p>一般小売店〔書籍〕（従業員）</p> <p>・客の財布のひもが固く、年末にむけて更にこの状況が厳しくなる。</p> <p>百貨店（売場主任）</p> <p>・ここ3か月の間に、郊外やまちなかに新規にオープンした商業施設との客の奪い合いが、ますます激化している。ここ最近では特に週末の集客に影響が出ており、土曜日と日曜日の販売数量及び来客数が減っている。この状態が続くと、初売りに影響が出ることが懸念される。</p> <p>コンビニ（店舗管理）</p> <p>・小売店や飲食店の人手不足から、パート、アルバイトの求人時給が高まっている。そのため、既存人員の待遇も改善しなければならない。このことが人件費増となり、損益を圧迫するだろう。</p> <p>その他専門店〔酒〕（経営者）</p> <p>・景気の悪い話が全く聞かれないことがあり、これから寒い季節になって、心も体も懐も温くなる日はいつのことかと思っている今日この頃である。将来は2～3か月先も1年先も、見通しは暗いと思っている。</p>

	高級レストラン（スタッフ）	・JRの秋のデスティネーションキャンペーンも終わり、現在の集客は一段落することが予測される。	
	一般レストラン（統括）	・人手不足による営業日数や営業時間の短縮により、売上高減少が予測される。現場業務だけでなく、事務職でも人手不足が始まってきた。	
	通信会社（職員）	・価格に左右される客数が多くなってきている傾向がある。	
	テーマパーク（職員）	・前年同期比でみた場合、向こう2～3か月先の、特に国内の団体客の予約が鈍い状況にあり、全体としてはやや悪くなる方向が予想される。	
	美容室（経営者）	・ヘアカラーによる皮膚のかぶれ問題がニュースで取り上げられて、その対応策がまだ講じられてない。	
	住宅販売会社（従業員）	・省エネ住宅エコポイントの枠も終了し、客の動きも鈍くなると感じる。	
	悪くなる	-	
企業動向関連	良くなる	-	
(北陸)	やや良くなる	化学工業（総務担当） プラスチック製品製造業（企画担当）	・受注量が増える予定である。 ・軸足を置く住宅市場は、5月以降新設住宅着工数が前年比で順調な伸びを示している。部材供給は着工後2～3か月後となることから、業績的には上向くものと予想している。
	変わらない	食料品製造業（役員） 繊維工業（経営者） 金属製品製造業（経営者） 一般機械器具製造業（経理担当） 一般機械器具製造業（総務担当） 精密機械器具製造業（経営者） 通信業（営業担当） 金融業（融資担当） 新聞販売店〔広告〕（従業員） 司法書士	・現状が仕入れ単価の上限との認識であり、これ以上の価格上昇は想定していない。今後の単価の推移を注視していく。 ・新しく開発された新商品については、意気込みだけはあつたのだが、具体的な数字はまだである。 ・2～3か月先の注文などの入り具合からそのように思った。 ・現在の引き合い状況から大きい変化はないと考えるが、新興国の為替動向に不安があり、輸出関連に不透明感はある。 ・欧米市場で特に米国の受注が伸びないので、変化がないと思われる。 ・年末に向けての生産計画は、例年ほど落ち込む傾向はないものの、量的にはそれほど増えていくような計画にはなっていない。 ・事業所の通信設備の投資がしばらく右肩上がりだったが、今月から少し鈍化してきた。 ・企業業績の改善や人手不足による賃金の上昇は見られるが、個々では大きなものではない。北陸新幹線効果については、定着したものとなり、街中の動向を見ても、引き続き観光客の入りは多く、取引先のホテルの稼働率も高い。短期的な落ち込みもない。 ・前年比売上は2か月連続で100%超えたものの、特定の業種での売上が大きかったに過ぎない。住宅や自動車などのチラシ出稿率は、依然として前年割れが続いている。 ・規模の大きい企業では事業承継のためのホールディング会社設立、事業発展のための会社分割という案件があるが、小規模事業者では、解散はしないものの事業は廃業し、店舗などの賃貸会社とするといった相談が多い。
	やや悪くなる	繊維工業（経営者） 建設業（経営者） 建設業（総務担当） 輸送業（配車担当） 金融業（融資担当） 不動産業（経営者）	・国内市場は相変わらず元気がない。また、輸出ではアメリカ市場を除き、欧州、中国とも厳しい状況にあり、受注の先細りが懸念される。 ・小泉政権や民主党政権で減茶苦茶に削減された公共事業予算が、安倍政権に替わりようやく回復した。しかし今年度は前年とほぼ同じであったが、来年度は下げられるという予測である。これから年末工期の工事の完成に向けて多忙になる時季であるが、こういう来年度の予測では景気が良くなると思われない。 ・地方では工事発注量の減少傾向が見受けられ、今後受注価格競争の激化が見込まれ、受注環境の悪化が予想される。 ・原油などの値下がりによってコストは下がって利益が出ているが、実際の物量は減少しており前年確保も厳しい現状である。 ・北陸新幹線効果も一巡し、建設業界では売上も横ばいとの話を聞く。県内で好調なのはジェネリック製薬のみである。 ・個人からの問い合わせがかなり少なくなってきているという話と、業者間ではまだ少しは動きが出ているという話がある。法人関係も情報が少なくなってきている。

		税理士（所長）	・公共工事関係も今は息が切れてきている状態で、建設工事 も徐々に減少してきている。また価格面においても、一時は 中小企業や下請けに対して、割と暖かい風として1人当たり の人工代を上げる傾向もあったが、ここに来て少し抑え気味 になっている。また、人手不足によって工事の入札が成立し ないことから、工事件数がまとまっていないのも全体のパイ が下がっている原因ではないかと思う。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・有効求人倍率が1.55倍と、依然として高い数値で推移して いる。
(北陸)	変わらない	人材派遣会社（役員）	・経験やスキルを問われる職種については人材不足となっ ている。厳しい状況が続く。
		人材派遣会社（社員）	・求人数が増えるにつれ、優秀な人材の確保、育成に取組 み、マッチング率を高めるよう努める。
		求人情報誌製作会社 （編集者）	・大きな雇用を行う話が出てこない。
		新聞社〔求人広告〕 （担当者）	・秋までの求人数からすると就業している人は確実に増えて おり、消費者全体としての消費は上向いていくと思われる が、個々の不景気感に抑えられるかと思う。
		職業安定所（職員）	・業績が良くなるという事業所がある一方で、先行きを不安 視している事業所もある。
		民間職業紹介機関（経 営者）	・このところの新規紹介や派遣は、一般的なものより設計、 IT技術系、販売など技術経験者の需要が増加しており、人 材探しがより難しくなっている。
		学校〔大学〕（就職担 当）	・未だに今年度の求人の問い合わせや追加求人がある中で、 次年度採用向けの企業説明会の案内やインターンシップの案 内が増えてきている。現状では今年度の売り手市場の求人状 況が続くのではと思う。
やや悪くなる	職業安定所（職員）	・人員整理を行う企業が若干みられるようになった。	
	悪くなる	-	-